

令和 8 年熊本地震 非常災害対策本部会議（第 1 回）

議 事 次 第

日時：令和 8 年 7 月 2 8 日（火） 1 9 : 4 5 ～

場所：官邸 4 階大会議室

- | | |
|----------------|-----------|
| 1. 開会 | 【内閣官房長官】 |
| 2. 地震の概要 | 【気象庁長官】 |
| 3. 被害状況等報告 | 【内閣危機管理監】 |
| 4. 実施方針について | 【防災担当大臣】 |
| 5. 各省庁の対応状況 | 【各省大臣等】 |
| 6. 非常災害対策本部長発言 | 【内閣総理大臣】 |
| 7. 閉会 | 【内閣官房長官】 |

令和8年7月28日16時27分頃の熊本県熊本地方の地震について

令和8年7月28日16時27分頃に発生した熊本県熊本地方を震源とする地震について、地震や津波に関する概要や留意事項を別添のとおりお知らせいたします。

本件に関する問い合わせ先

地震火山部 地震津波監視課
電話 03-3434-9041

津波注意報を発表

津波注意報 有明・八代海

津波を観測中！（津波発生のおそれ！）
海の中や海岸から離れて！

7月28日16時29分発表



最新の情報は、以下のページでご確認ください。

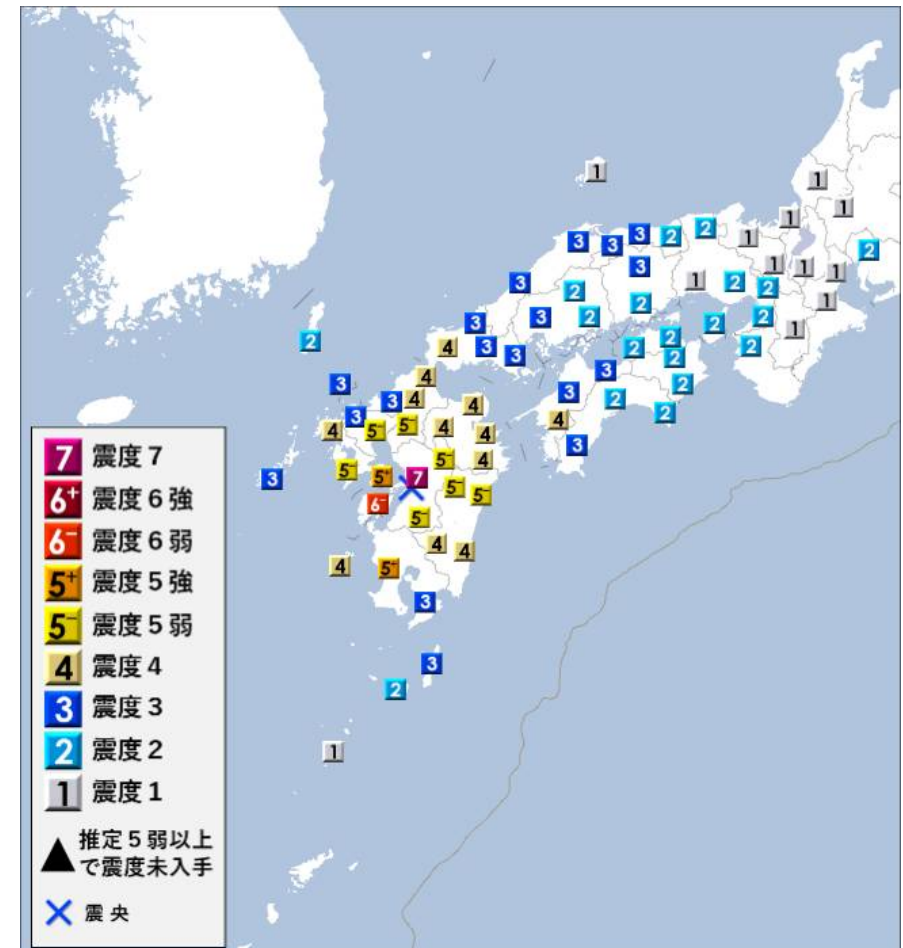
津波警報等の発表状況：<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=tsunami>

震度7を観測

震度7 熊本県

(揺れの強かった地域)
家の倒壊や土砂災害の危険
今後の地震や雨に十分注意
危険な場所に入らない！
※1週間程度(特に今後2～3日の間)
最大震度7程度の地震に注意
過去に続発事例あり。

7月28日16時35分発表



津波警報等の発表状況

津波注意報
有明・八代海

7月28日16時29分発表



最新の情報は、以下のページでご確認ください。

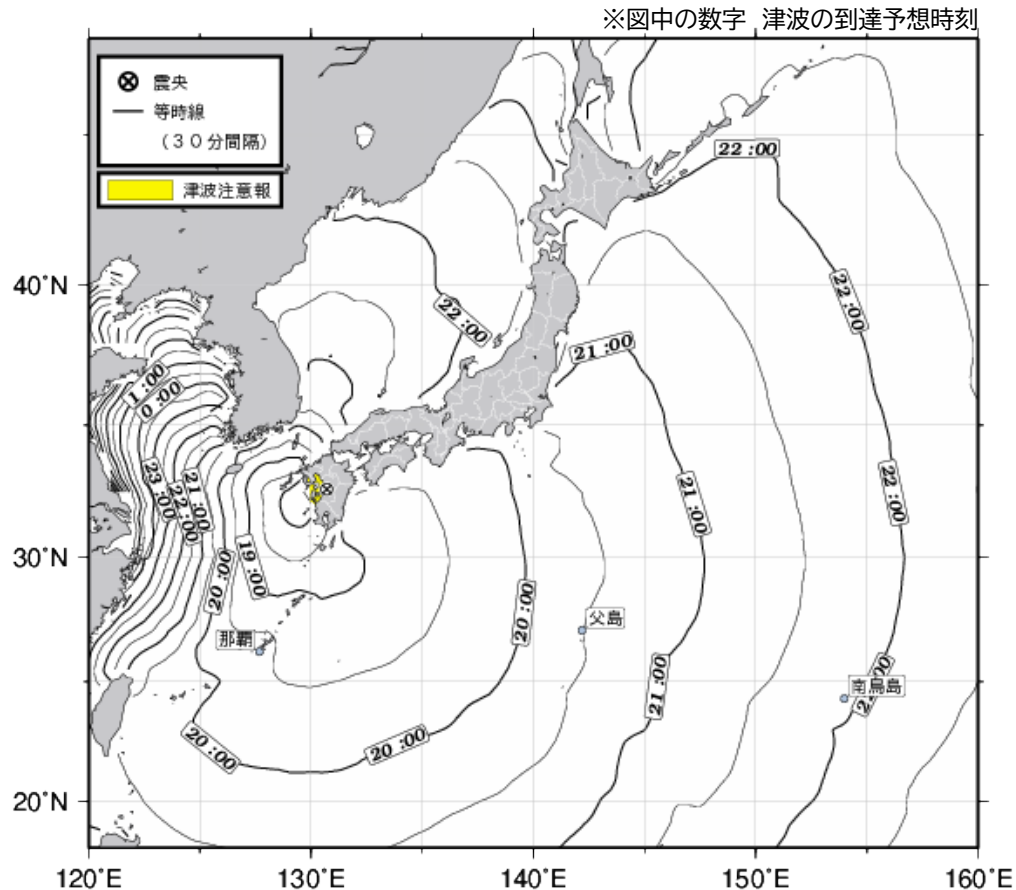
津波警報等の発表状況：<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=tsunami>

津波警報等を発表している沿岸の市町村

(注) 津波は海に直接面していない市町村まで遡上することがあります。
音声にて認識しやすいように、読み方が同じ市町村には、その前に県、地方等の名称の一部を付加しています。

津波予報区	都道府県名	市町村名
有明・八代海	福岡県	大牟田市、みやま市、柳川市
	佐賀県	佐賀市、小城市、白石町、佐賀鹿島市、太良町
	長崎県	諫早市（有明海沿岸）、雲仙市（有明海沿岸）、南島原市（有明海沿岸）、島原市
	熊本県	八代市、芦北町、津奈木町、水俣市、氷川町、宇城市、宇土市、熊本市、玉名市、長洲町、荒尾市、上天草市、天草市（有明・本渡・新和・栖本・倉岳・御所浦）

津波第1波の到達予想時刻図



(津波注意報の発表地域)
海の中や海岸から離れて！

津波は長い時間繰り返し襲ってきます。
第1波より後に来る波が大きいこともあります。
津波警報等が解除されるまでは避難を！

(図の留意事項)

時間が経つにつれ津波が広がっていく様子を単純なモデルで計算し、津波警報等の発表地域への第1波の到達予想時刻の大まかな目安を示した図です。

津波到達予想時刻に関する情報で示した時刻や、実際に津波が到達する時刻とは異なる場合があります。

予想時刻は、日本全国を対象に等値線を描画しているため、津波が到達すると予想されていない地域を含めて表示されています。

最新の情報は、以下のページでご確認ください。

津波の警報等の発表状況:<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=tsunami>

地震の概要

検知時刻 (最初に地震を検知した時刻)	7月28日16時27分頃
発生時刻 (地震が発生した時刻)	7月28日16時27分頃
マグニチュード	7.1(速報値)
発生場所	熊本県熊本地方 深さ約 10km
発震機構	東北東—西南西方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型(速報)
震度	【最大震度7】熊本県の宇城市(うきし)・氷川町(ひかわちょう)で震度7を観測したほか、北陸地方から九州地方にかけて震度6強～1を観測
地震活動の状況 28日17時00分現在	今回の地震発生後、震度1以上を観測した地震が8回発生(震度5弱:1回 震度4:2回 震度3:3回 震度2:2回)
長周期地震動の観測状況	熊本県熊本で長周期地震動階級4を観測

防災上の留意事項と今後の見通し

(防災上の留意事項)

津波が発生したおそれがあり海の中や海岸付近は危険です。海の中にいる人はただちに海から上がって、海岸から離れてください。潮の流れが速い状態が続きますので、注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近付いたりしないようにしてください。

揺れの強かった地域では、家屋の倒壊や土砂災害などの危険性が高まっていますので、今後の地震活動や降雨の状況に十分注意し、やむを得ない事情が無い限り危険な場所に立ち入らないなど身の安全を図るよう心がけてください。

(今後の地震活動の見通し)

この地域では過去に、大地震発生から1週間程度の間に同程度の地震が続発した事例があることから、揺れの強かった地域では、地震発生から1週間程度、最大震度7程度の地震に注意してください。特に地震発生から2～3日程度は、強い揺れをもたらす地震が発生することが多くあります。

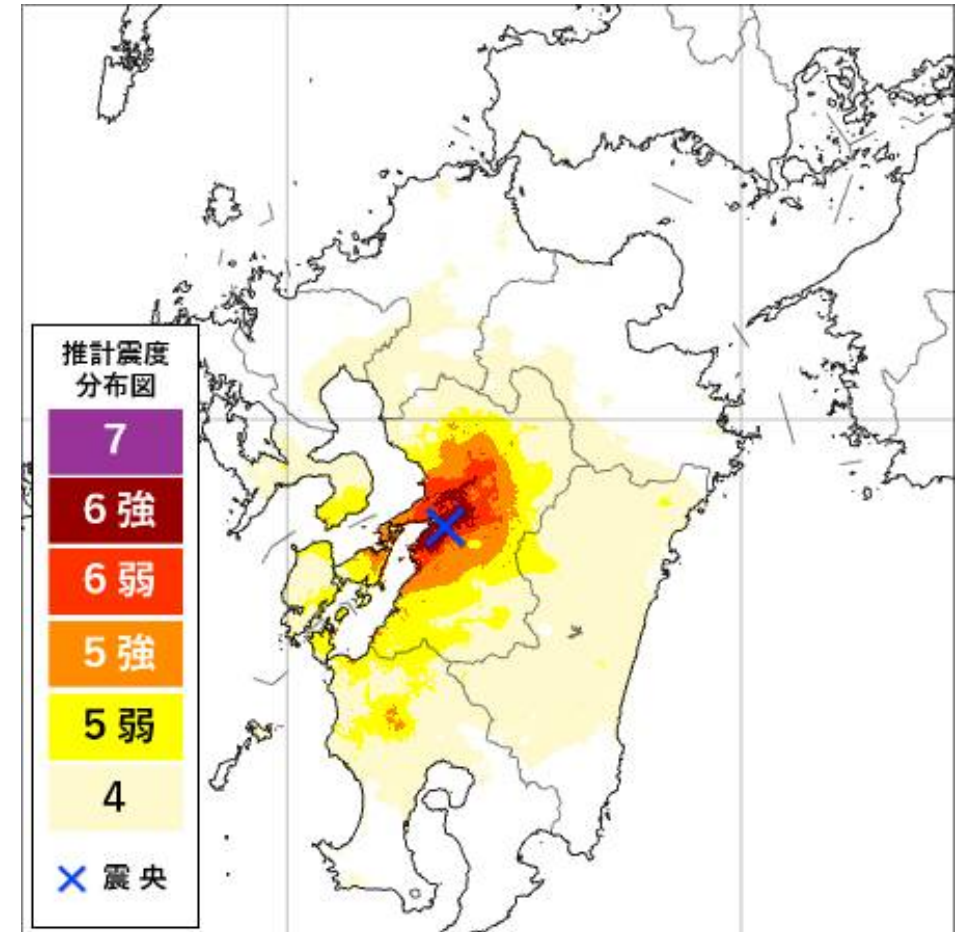
震度分布図・推計震度分布図

【各地域の震度】



7月28日16時35分発表

推計震度分布図



※留意事項は以下リンクからご確認ください。

最新の情報は、以下のページでご確認ください。

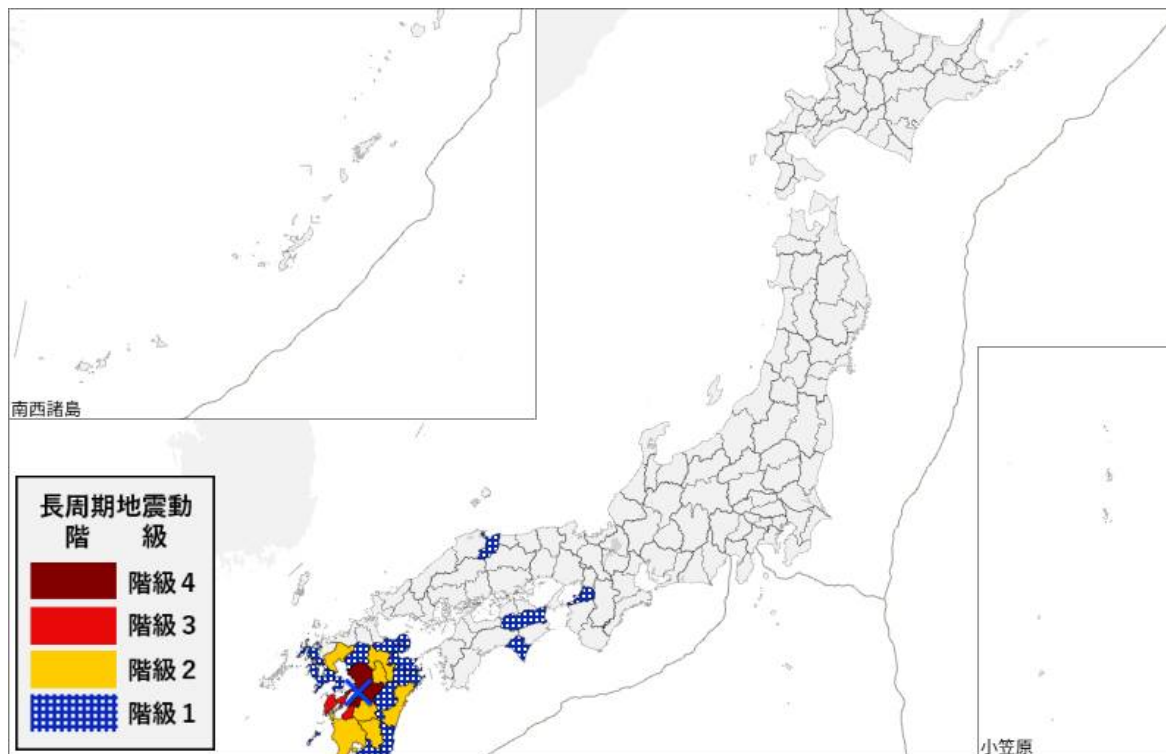
地震情報:https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=earthquake_map

推計震度分布図:https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=estimated_intensity_map

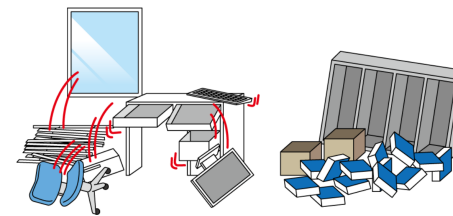
長周期地震動階級の観測状況

階級	地域名称
階級4	熊本県熊本
階級3	熊本県天草・芦北

7月28日16時37分発表



階級4



立っていることができない

階級3



立っていることが困難

階級2



物につかまりたいと感じる

階級1



ほとんどの人が揺れを感じる

最新の情報は、以下のページでご確認ください。

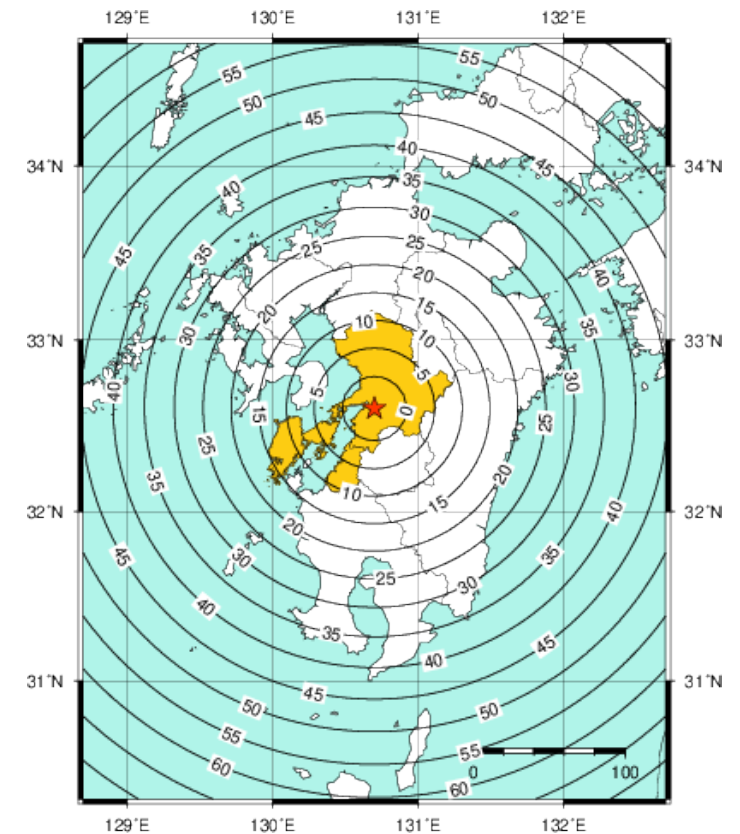
長周期地震動に関する観測情報:<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=ltpgm>

緊急地震速報の発表状況

緊急地震速報の詳細

提供時刻		経過 時間 (秒)	震源要素					予測した 震度と階級
地震波 検知時刻	16時27分18.1秒		震央地名	北緯	東経	深さ	M	
第2報	16時27分21.9秒	3.8	熊本県熊本地方	32.6	130.7	10km	1.0	※2
※2 震度6弱程度以上		熊本県熊本						
震度5強程度以上		熊本県天草・芦北						
第5報	16時27分23.6秒	5.5	熊本県熊本地方	32.6	130.7	10km	6.3	※5

警報第1報の対象地域及び主要動到達までの時間



緊急地震速報（警報）を発表した地域 ★ 震源

発表状況の詳細は、以下のページでご確認ください。

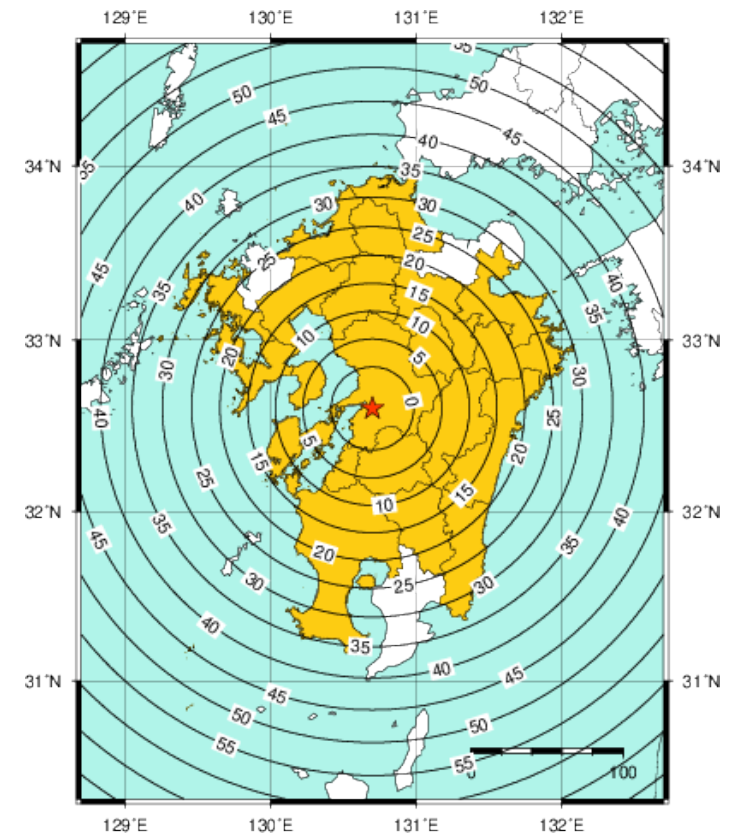
緊急地震速報(警報)の発表状況:https://www.data.jma.go.jp/eew/data/nc/pub_hist/index.html

緊急地震速報の発表状況

緊急地震速報の詳細

提供時刻		経過 時間 (秒)	震源要素					予測した 震度と階級
地震波 検知時刻			震央地名	北緯	東経	深さ	M	
第2報	16時27分21.9秒	3.8	熊本県熊本地方	32.6	130.7	10km	1.0	※2
第5報	16時27分23.6秒	5.5	熊本県熊本地方	32.6	130.7	10km	6.3	※5
※5	震度6弱から6強程度 熊本県熊本 震度6弱程度 熊本県天草・芦北 震度5弱程度 熊本県阿蘇、長崎県島原半島 震度4から5弱程度 鹿児島県薩摩 震度4程度 熊本県球磨、宮崎県北部山沿い、福岡県筑後、宮崎県南部山沿い、大分県西部、長崎県南西部、佐賀県南部、長崎県北部、宮崎県北部平野部、宮崎県南部平野部、大分県南部、福岡県福岡 震度3から4程度 大分県中部、福岡県筑豊、福岡県北九州 長周期地震動階級3 熊本県熊本							

警報第2報の対象地域及び主要動到達までの時間



緊急地震速報（警報）を発表した地域 ★ 震源

発表状況の詳細は、以下のページでご確認ください。

緊急地震速報(警報)の発表状況:https://www.data.jma.go.jp/eew/data/nc/pub_hist/index.html

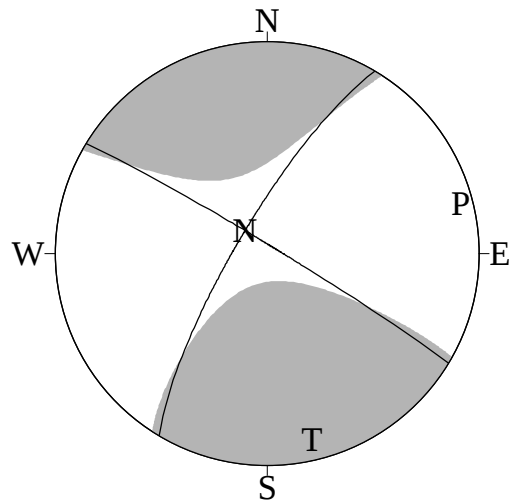
発震機構解

07281627

東北東 - 西南西方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型

[CMT解(速報)]

Mw=6.8



下半球等積投影法で描画

P：圧力軸の方向

T：張力軸の方向

セントロイドの位置

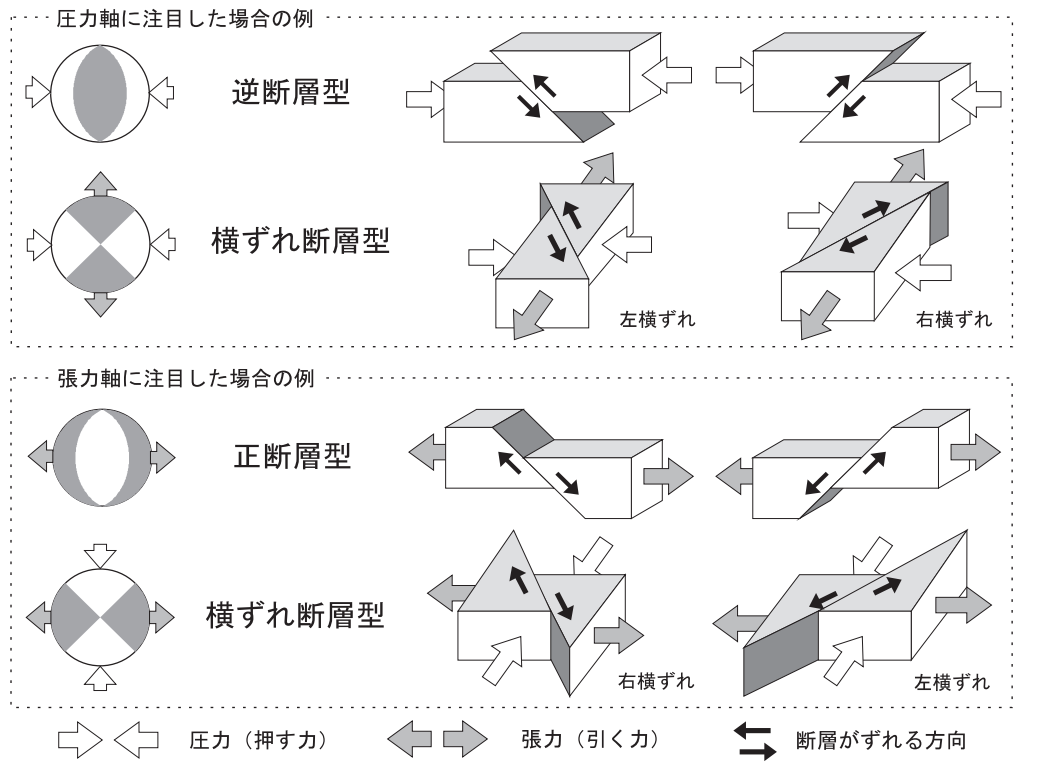
北緯 32度33分

東経 130度42分

深さ 約10km

セントロイドの位置とは、
地震の断層運動を1点で
代表させた場合の位置。

発震機構解 [CMT解] について

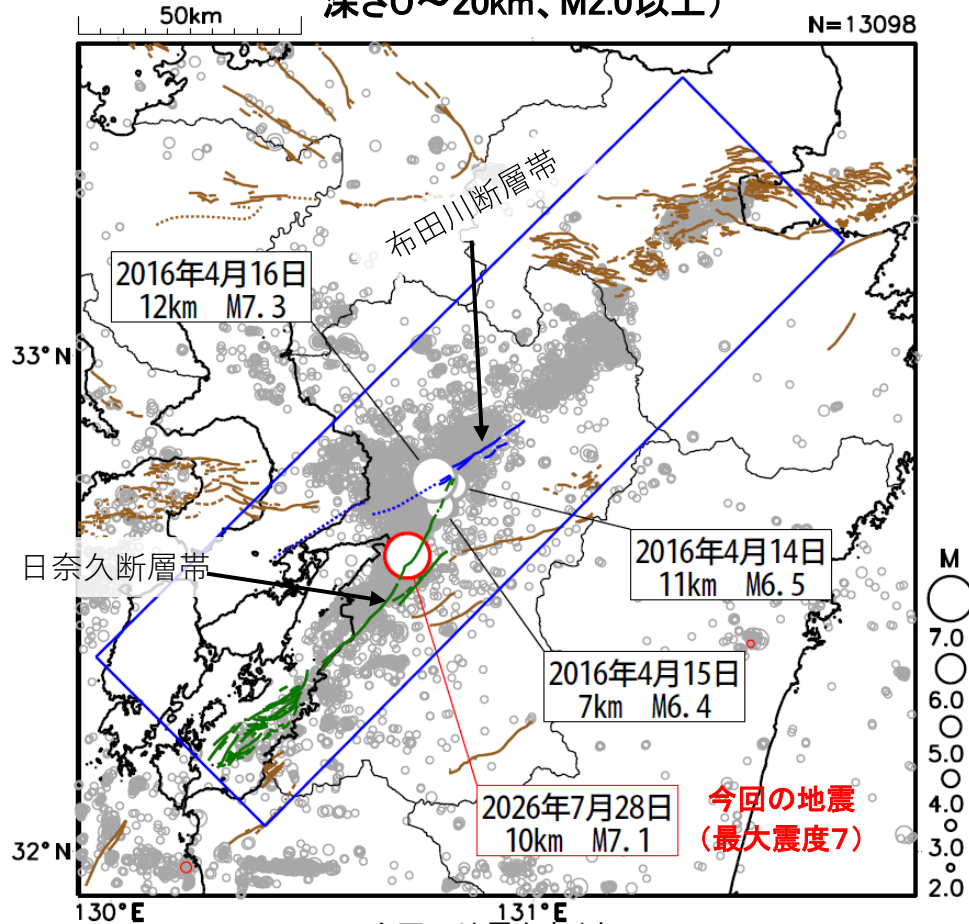


気象庁作成

令和8年7月28日 熊本県熊本地方の地震 (発生場所の詳細)

震央分布図

(1997年10月1日～2026年7月28日16時27分、
深さ0～20km、M2.0以上)



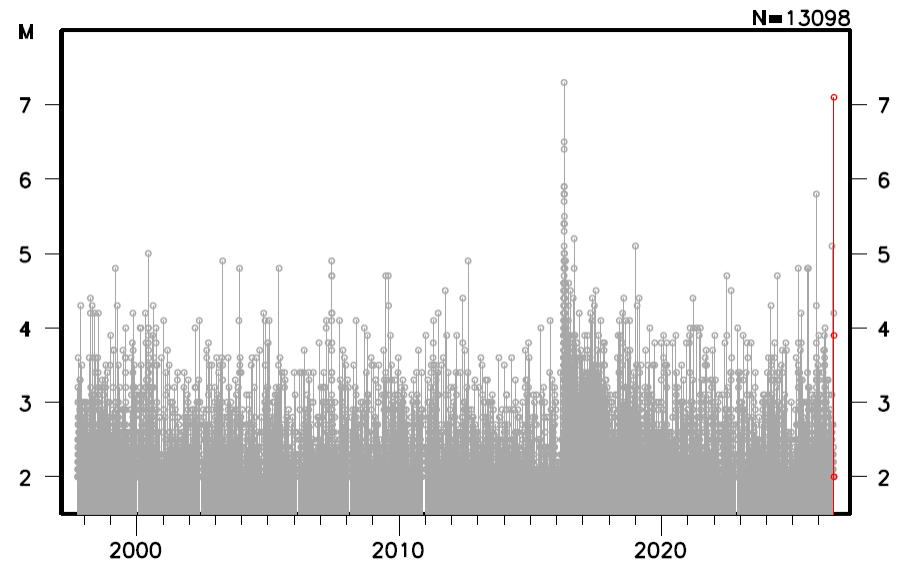
今回の地震を赤く表示

2026年7月28日の地震は未精査のものを含む

丸の大きさはマグニチュードの大きさを表す。

震央分布図中の青及び緑並びに茶色の線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

左図の矩形領域内の地震活動経過図



横軸は時間、縦軸はマグニチュード、
縦棒のついた丸は地震発生時刻とマグニチュード
の大きさを表す。

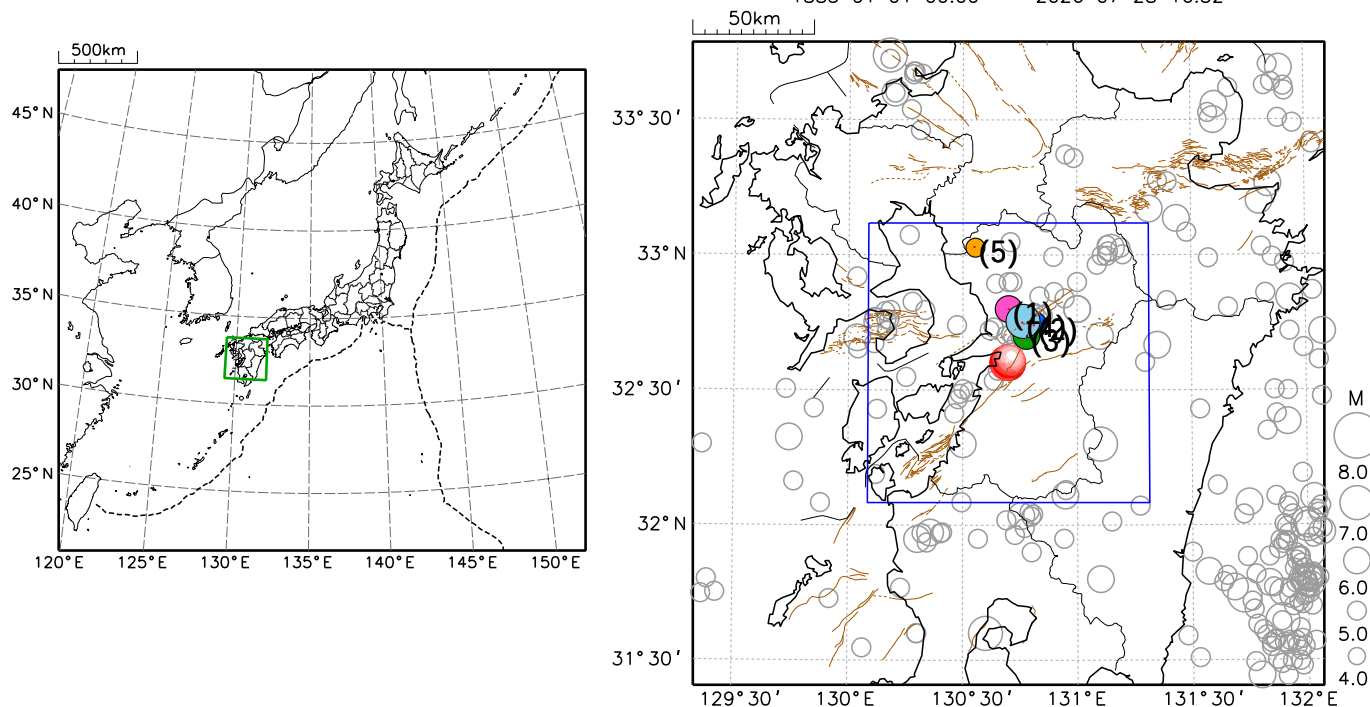
今回の地震周辺の過去の主な地震活動

震央分布図

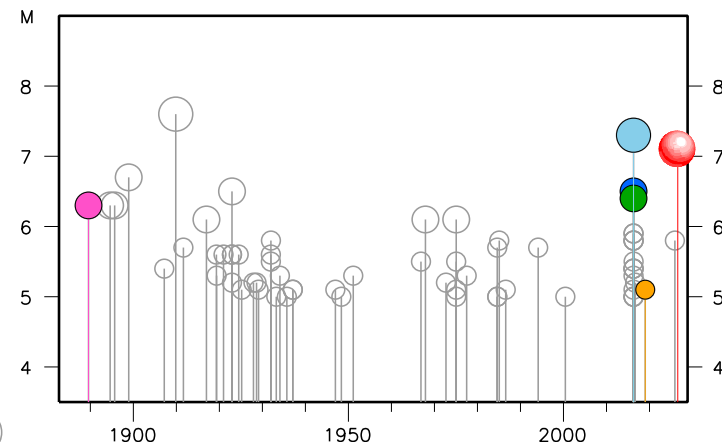
M 5.0 , 深さ : 0 ~ 150km

今回の地震を赤く表示

1885 01 01 00:00 -- 2026 07 28 16:32



震央分布図の青色矩形内のM-T図



過去の主な地震

主な地震のシンボルの色と番号の対応

桃：(1), 青：(2), 緑：(3), 水：(4), 黄：(5)

(1) 1889年07月28日 M:6.3 熊本県熊本地方

(2) 2016年04月14日 M:6.5 熊本県熊本地方

(3) 2016年04月15日 M:6.4 熊本県熊本地方

(4) 2016年04月16日 M:7.3 熊本県熊本地方
「平成28年（2016年）熊本地震」[6.5→7.3]

(5) 2019年01月03日 M:5.1 熊本県熊本地方

・震央分布図中の茶色の細線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

・震央分布図中の黒色の太破線は、海溝軸を示す。

・1885年から1918年の地震の震源要素は、宇津（1982,1985）及び茅野・宇津（2001）による。

<地震の名称について>

・気象庁が定めた地震の名称を「」で示す。

・上記以外で、被害を伴い、広く社会的に地震の名称として知られているものについて、名称（「」を付加しない）を併記している。

名称は、「日本の地震活動（第2版）」（地震調査研究推進本部）による。

・地震の名称の後ろの[]は、この規模の順に近接して発生した主な地震が他にあることを示す。

名称は、最大規模の地震にのみ付加しており、[]内に記載した他の地震が異なる番号で記載される場合がある。

<資料の利用上の注意点>

・今回の地震は、速報値を表示しており、精査後に修正する場合がある。

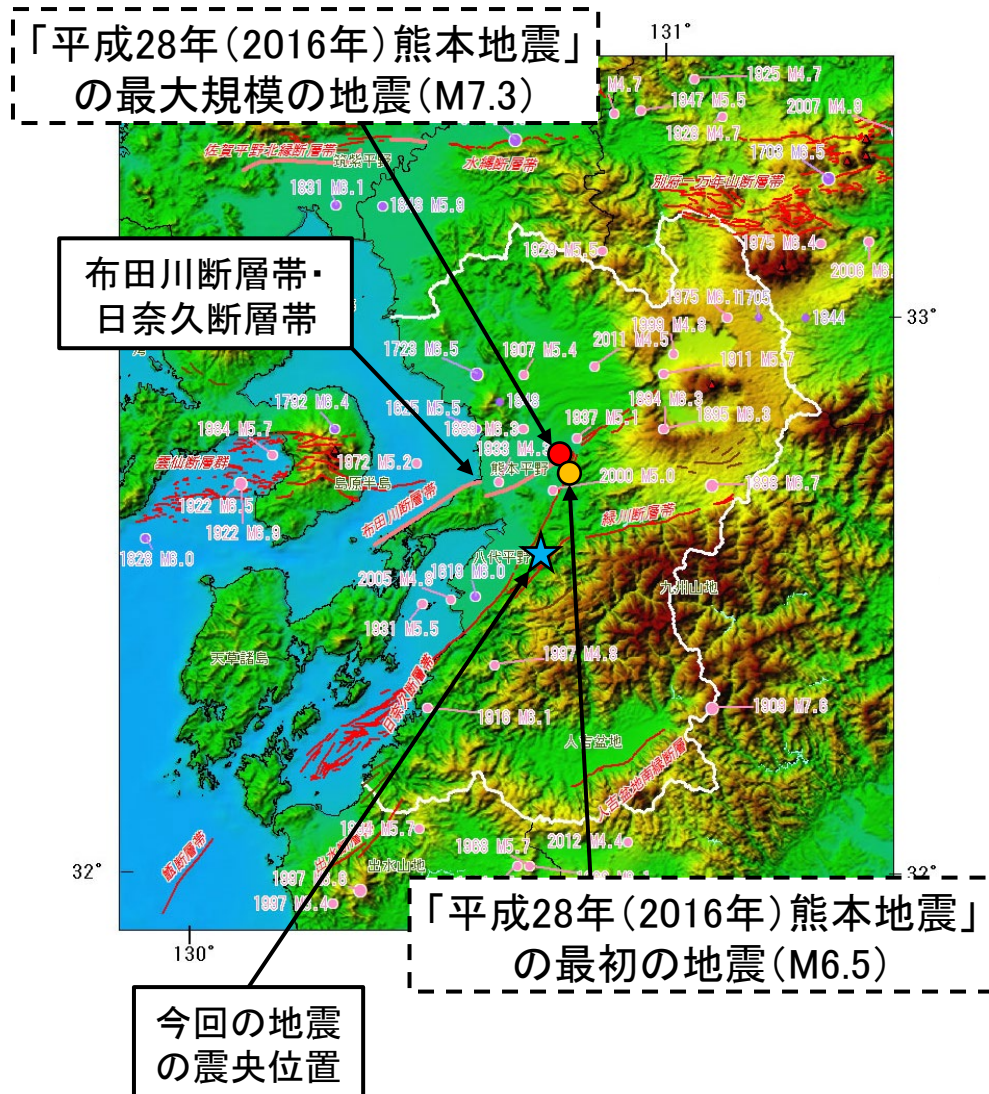
・過去の地震活動は、M5.0以上の地震、今回の地震は、M4.0以上の地震を表示している。

・過去の地震活動は、地域、時期に依らず、全てM5.0以上の地震を表示している。地域や時期により検知能力（ ）が異なる場合がある。

検知能力：特定の地域、時期において、あるM（規模）以上の地震は、概ね全て検知できていると考えられるとする。

この場合、そのMが小さいほど検知能力が高いと言う。

一般的に、同時期であれば、海域より陸域の方が検知能力は高く、同一地域であれば、時期が新しいほど検知能力は高い。



●周辺の活断層

○今回の地震の震源周辺には、布田川(ふたがわ)断層帯・日奈久(ひなぐ)断層帯が存在します。

●過去の例

○「平成28年(2016年)熊本地震」では、M6.5の地震が発生した2日後に、隣接する別の活断層でより規模の大きな地震(M7.3)が発生しました。

○過去には、2005年の福岡県北西沖の地震(M7.0)のように、大きな地震の後、近くの活断層(警固断層帯南東部)は活動せず当初の地震活動域が広がらなかった例もあれば、1930年の北伊豆地震(M7.3)のように、近くの活断層(北伊豆断層帯)が活動し、当初の活動域が広がった例もあります。

●留意事項

○過去の例のように、今回の地震の周辺に存在する活断層等で大きな地震が発生する可能性は否定できないため、留意が必要です。

○今回の地震の周辺に存在する活断層で大きな地震が発生した場合には、周辺で震度6強以上の強い揺れになると予想されています。

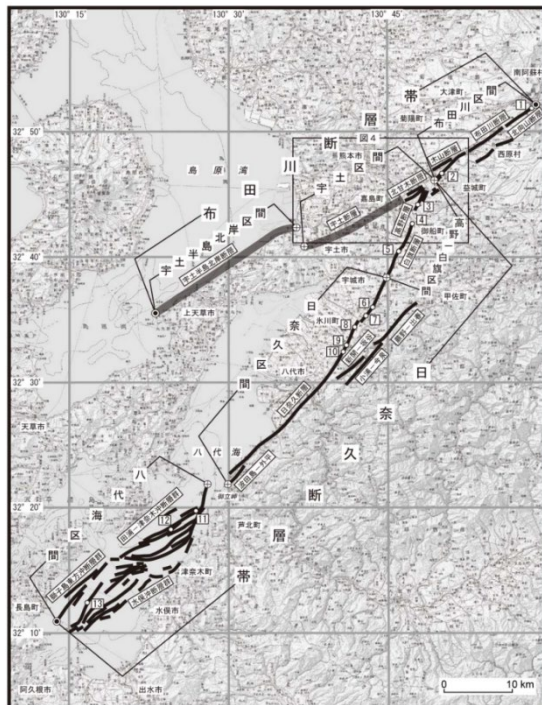
布田川(ふたがわ)断層帯・日奈久(ひなぐ)断層帯

●過去の主な地震

2016年4月14日のM6.5の地震及び4月15日のM6.4の地震の震源域付近には日奈久断層帯が存在しています。これらの地震は、その高野―白旗区間の活動によると考えられます。

2016年4月16日のM7.3の地震の震源域付近には布田川断層帯が存在しています。この地震は、主に布田川断層帯の布田川区間の活動によると考えられます。

●活断層の詳細な位置



●活断層の長期評価

断層帯	活動区間	想定される規模	ランク
布田川断層帯	布田川区間	M7.0程度	Zランク
	宇土区間	M7.0程度	Xランク
	宇土半島北岸区間	M7.2程度以上	Xランク
日奈久断層帯	高野―白旗区間	M6.8程度	Xランク
	日奈久区間	M7.5程度	S＊ランク
	八代海区間	M7.3程度	S＊ランク

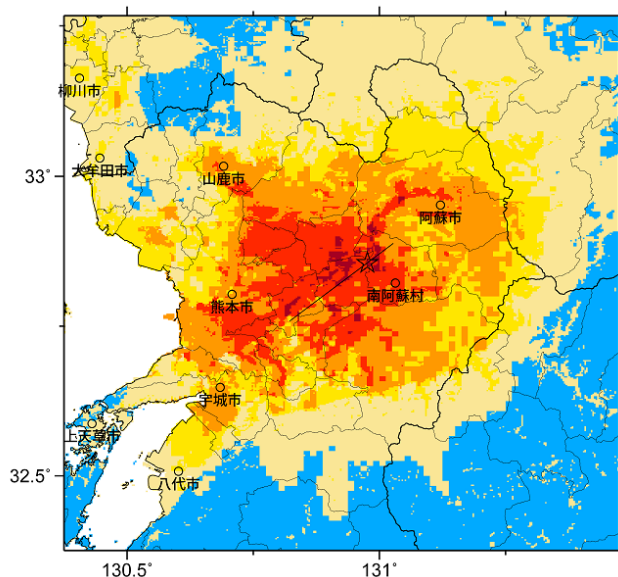
同時に活動する場合の断層帯	想定される規模
布田川断層帯全体が同時に活動した場合	M7.5―7.8 程度以上
日奈久断層帯全体が同時に活動した場合	M7.7―8.0 程度
日奈久断層帯の全体及び布田川断層帯の布田川区間が同時に活動した場合	M7.8―8.2 程度

活断層における今後30年以内の地震発生確率が、3%以上を「Sランク」、0.1～3%を「Aランク」、0.1%未満を「Zランク」、不明(すぐに地震が起きることが否定できない)を「Xランク」と表記している。地震後経過率(最新活動時期から評価時点までの経過時間を、平均活動間隔で割った値)が0.7以上である活断層については、ランクに「＊」を付記している。

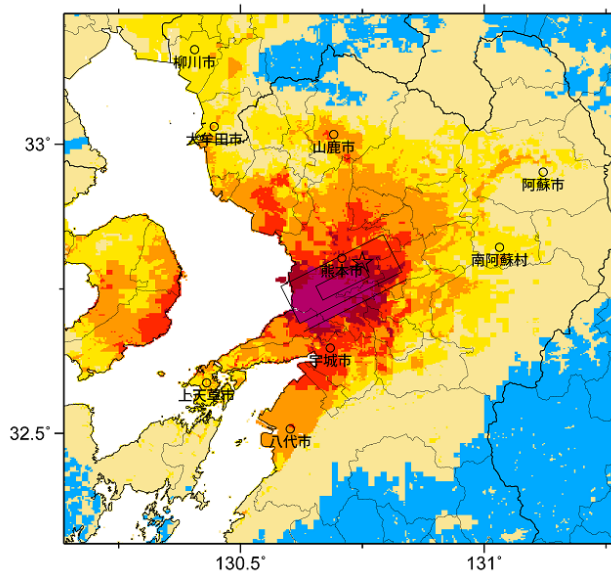
布田川(ふたがわ)断層帯・日奈久(ひなぐ)断層帯 (布田川断層帯)

●今回の地震周辺に存在する活断層で大きな地震が発生した場合に予想される震度分布図

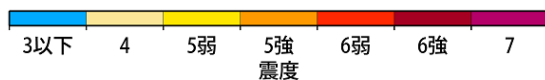
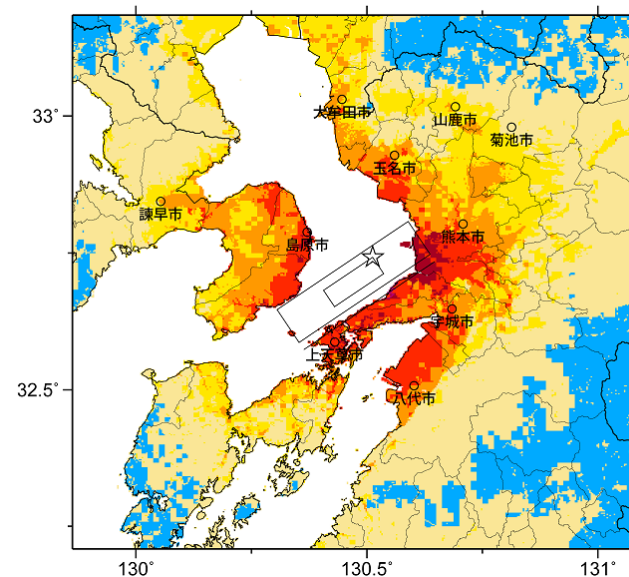
布田川区間



宇土区間



宇土半島北岸区間



* 様々なケースが想定されるうちの一例を示したものであり、これよりも大きな震度になる場合があります。

活断層の位置、想定される規模、ランク、予想される震度分布図は、地震調査研究推進本部による。

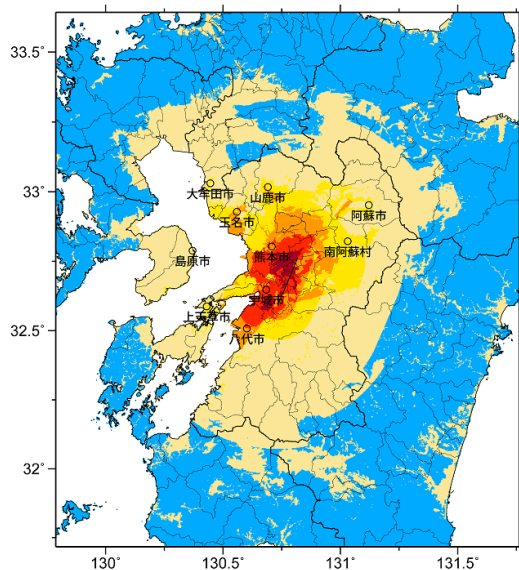
「都道府県ごとの地震活動」 https://www.jishin.go.jp/regional_seismicity/

「布田川断層帯・日奈久断層帯」の詳細 https://www.jishin.go.jp/regional_seismicity/rs_katsudanso/f093_futagawa_hinagu/

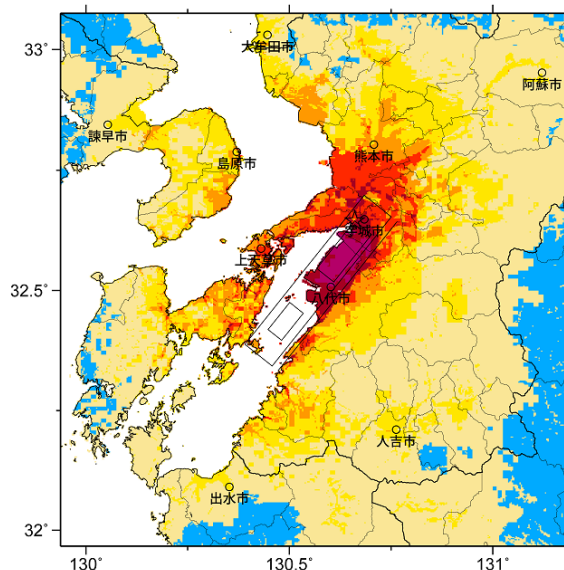
布田川(ふたがわ)断層帯・日奈久(ひなぐ)断層帯 (日奈久断層帯)

●今回の地震周辺に存在する活断層で大きな地震が発生した場合に予想される震度分布図

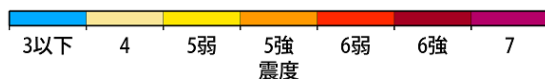
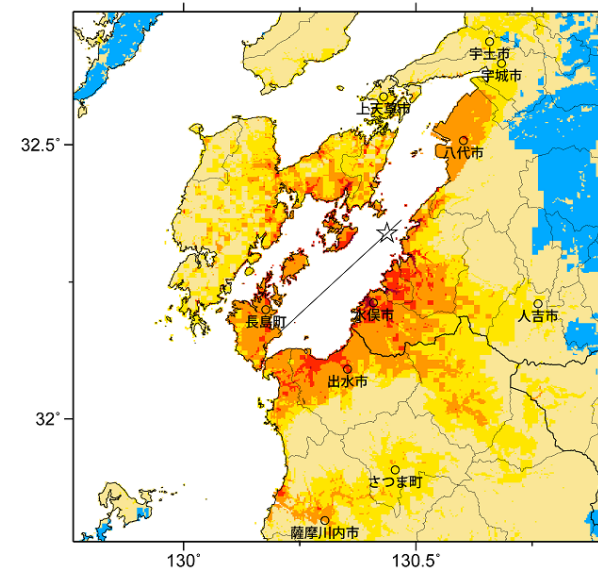
高野ー白旗区間(簡便法)



日奈久区間



八代海区間



* 簡便法の図以外は、様々なケースが想定されるうちの一例を示したものであり、これよりも大きな震度になる場合があります。

活断層の位置、想定される規模、ランク、予想される震度分布図は、地震調査研究推進本部による。

「都道府県ごとの地震活動」 https://www.jishin.go.jp/regional_seismicity/

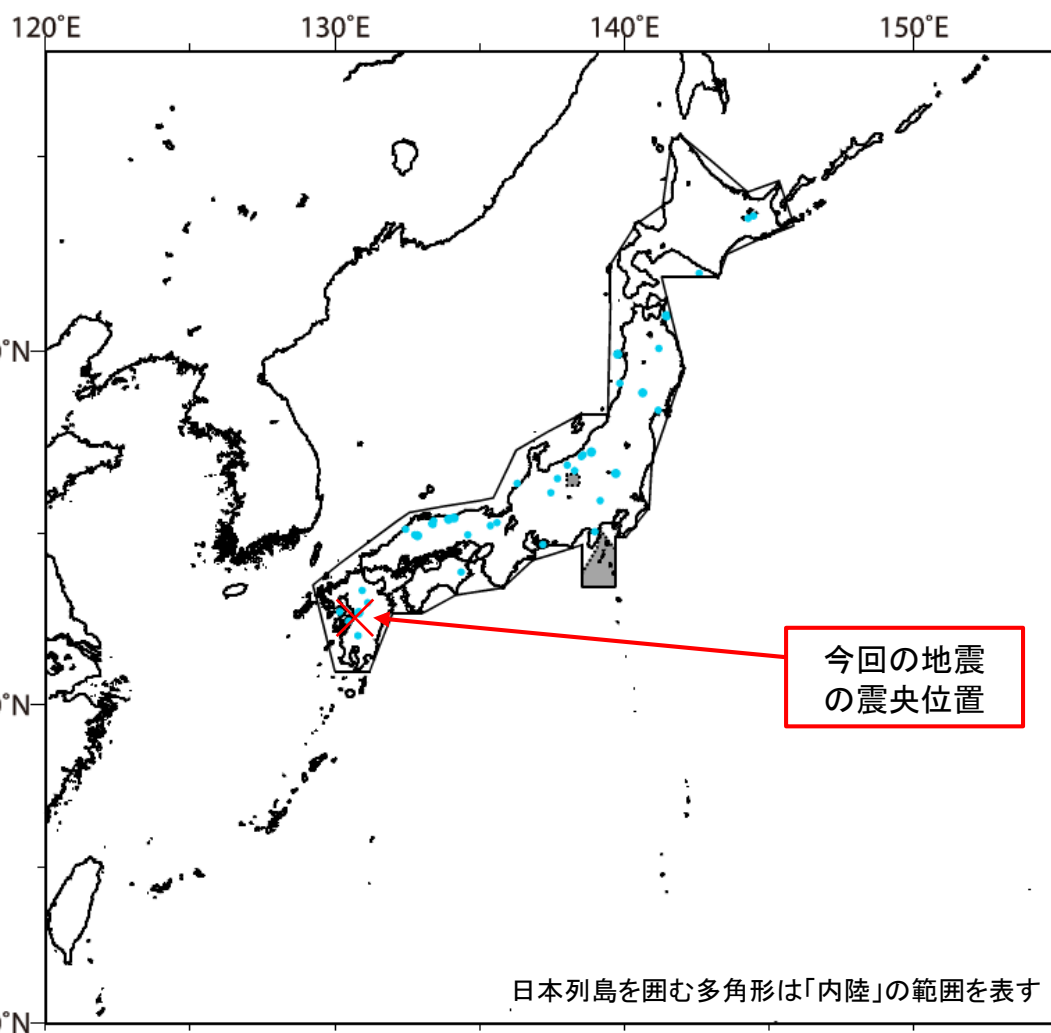
「布田川断層帯・日奈久断層帯」の詳細 https://www.jishin.go.jp/regional_seismicity/rs_katsudanso/f093_futagawa_hinagu/

震源周辺における規模の近い地震の続発事例について

(参考資料)

大きな地震発生後に規模の近い地震が続発した過去の事例 (内陸地殻内)

1923年～2016年6月、内陸で発生した深さ0～30km、マグニチュード5.0以上、規模の差が0.5以内もしくは同規模以上の地震が発生した地震を●で表示



規模が近い地震が続発した過去の事例は、地震調査研究推進本部地震調査委員会「大地震後の地震活動の見通しに関する情報のあり方」報告書による。

■日本全国での過去の事例

内陸の浅い場所で発生した大きな地震の場合、過去には規模が近い地震が続発した事例があります(左図の●及び灰色の領域)。また、まれに、発生した大きな地震よりも、より規模の大きな地震が発生した事例もあります(563事例中、35事例で全体の6%)。

■今回の地震の周辺における過去の事例

今回の地震の周辺では、2016年に熊本県熊本地方で発生したM6.5の地震の2時間後にM6.4の地震が、また、1.1日後にM7.3の地震が発生した事例があります(平成28年(2016年)熊本地震)。

発表した情報などについて

- 津波警報等の発表状況
<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=tsunami>
- 津波の観測状況
<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#elem=info&contents=tsunami>
- 潮位観測情報
<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=tidelevel>
- 地震情報
https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=earthquake_map
- 推計震度分布図
https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=estimated_intensity_map
- 長周期地震動に関する観測情報
<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=ltpgm>
- 緊急地震速報の発表状況
https://www.data.jma.go.jp/eew/data/nc/pub_hist/index.html
- 発震機構解
<https://www.data.jma.go.jp/eew/data/mech/top.html>
- 震央分布
<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=hypo>
- 地震から身を守るために
https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/jishin/jishin_bosai/index.html
- 津波から身を守るために
https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/jishin/tsunami_bosai/index.html
- 気象庁防災情報X(旧Twitter)
https://x.com/JMA_bousai



災害応急対策等に関する実施方針（案）

令和8年7月28日
令和8年熊本地震
非常災害対策本部

以下の方針に基づき、地方公共団体及び関係機関・団体と緊密に連携し、総力を挙げて災害応急活動に取り組むとともに、国民生活及び経済活動の早期の回復を促進する。

- 1 迅速な情報収集を行い、被害状況を把握する。
- 2 人命の救助を第一に、行方不明者等の一刻も早い救命・救助に全力を尽くす。
- 3 先手先手で、被害の拡大防止に万全を期す。
- 4 避難者の生活環境や生活必需品の確保に努める。
- 5 電気、ガス、水道、通信等のライフラインや鉄道等の交通機関の復旧を促進する。
- 6 被災地の住民をはじめ、国民や地方公共団体、関係機関が適切に判断し行動できるよう、的確に情報を提供する。
- 7 被災地方公共団体の状況にかんがみ、道路・航路の啓開、河川管理施設や港湾・漁港の応急復旧等、積極的に災害応急対策を応援するとともに、必要に応じ、応急措置の実施の支障となるものの除去等を実施する。
- 8 関係省庁が連携して、被災者支援に取り組む。